

県立美術館の活性化に向けた課題

〈活性化の視点〉

県民に「優れた美術作品の鑑賞の機会」と「美術活動の場」を提供する県立美術館として、県民満足度向上の観点から活性化を図る。（第二次答申あとがきより）

機能	項目	活性化に際しての課題	目指す姿
運営全般	持続的運営	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県立美術館の位置付け、役割の明確化 ・ 人材育成（館で働く全ての職種、コーディネーター、ボランティア） ・ 外部資金を含めた財源の安定的な獲得 ・ レストラン等アメニティーの充実 	「みる・かたる・つくる」をキーワードに、 <u>伝統を継承しながらも、新たな取り組みにもチャレンジし、幅広い年齢層の県民に</u> 繰り返し利用してもらえる美術館
	事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の意見や先進事例を取り入れる体制の確立 ・ 既存の枠組みに囚われない活動への取り組み ・ 広報・周知活動の強化 	
基本活動	調査・研究・資料収集・保管	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収蔵対象としている現代芸術関連資料の収集が不十分 ・ 経年劣化により活用ができない絵画等の修復、屋外のブロンズ彫刻6点の腐食劣化対策ができていない ・ 収蔵庫が狭隘化している（現状100%超） 	良質な文化芸術を県民に提供するとともに、 <u>現代の文化芸術を育てる</u> 美術館
	展示	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別展は博物館・美術館全体で年1回、特別展がない場合の企画展は年1回と開催数が少ない ・ 県内の美術館格差是正のための移動美術館の充実 ・ 観覧者数が他県に比べ少ない、高齢者率が高い 	
支援・教育普及	美術団体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 団体展は、実施団体が高齢化かつ固定化し、新規や若い世代の団体が参入しにくい ・ 団体展に利用する展示室の、空き期間の更なる活用 	県民に文化芸術活動を行う機会と場を提供し、 <u>その活動を支援する</u> 美術館
	学校教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校団体利用が少ない ・ 学校支援体制の拡充 	
	生涯学習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 創作の場（アトリエ棟）の更なる活用 ・ 友の会に法人の加盟がない（制度は有り） ・ 友の会会員の高齢化、会員数の減少 	
連携	大学等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連携先の拡充 	連携により <u>新たな価値を創造する</u> 美術館
	県内博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相乗効果が期待できる安定的な連携事業の実施 	
	千葉港地域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 千葉港地域での文化的シンボルとしての認知度が低い 	